

●施策名

【施策3】子どもたちの生き抜く力を支える「確かな学力」を身につけさせます

(関連指標：指標19～指標26 (P54～P55))

- i 少人数教育によるきめ細かな指導【再掲】
- ii 言語に関する能力の育成
- iii 学力向上のための取組
- iv 理数教育の推進
- v 過疎・中山間地域の学習指導及び学習環境の充実
- vi 放射線教育の推進
- vii 防災教育の推進

●代表的な取組の進捗状況

- i 少人数教育によるきめ細かな指導【再掲】
 - ・ 個に応じたきめ細かな指導が可能となるよう、小学校、中学校において30人及び30人程度学級編制に必要な教員を配置しています。

- ii 言語に関する能力の育成
 - ・ 知的活動やコミュニケーションなどの基盤となる言語に関する能力を育成するため、各学校の事例をもとに、教員を対象とした協議会を行うなど、全ての教科等において子どもたちの言語活動の充実を図っています。

- iii 学力向上のための取組
 - ・ 生徒一人一人の進路希望実現のため、難関大学進学に向けた取組や、確かな学力向上のための基礎力養成・キャリア教育に関する取組の支援などを行っています。

- vi 放射線教育の推進
 - ・ 児童生徒に科学的な知識とそれに基づく判断力・行動力を身につけさせるため、指導者養成研修会、地区別研究協議会の開催や、指導資料の作成を通じ、児童生徒の発達段階に応じた放射線教育を行っています。



放射線教育の様子

- vii 防災教育の推進
 - ・ 防災学習に対する指導力向上のため、防災学習指導資料の作成や担当指導主事の研修会を開催し、防災教育の一層の充実を図っています。防災個人カードを配付し、児童生徒及び保護者等の意識の啓発を図るとともに、地域と連動連携した防災教育を推進します。

●問題点・改善等が必要な項目

- ① 少人数教育によるきめ細かな指導
 - ・ 小・中学校の少人数教育をより効果的に行うための方策の検討。
- ② 言語に関する能力の育成
 - ・ 学校等における読書活動の一層の推進。
- ③ 学力向上のための取組
 - ・ 小・中学校における家庭での学習時間の増加及び算数・数学における応用力強化。
 - ・ 高等学校における国公立大学の合格者の割合増、成績上位者の学力強化。
 - ・ 児童生徒の学習習慣の確立に向けた保護者の意識醸成。
- ④ 理数教育の推進
 - ・ 児童・生徒の興味関心を高め、数学的・科学的に考える力の育成。
 - ・ 科学・技術研究論文「野口英世賞」の応募数の増加。
- ⑤ 過疎・中山間地域の学習指導及び学習環境の充実
 - ・ 学習意欲の向上と学習習慣の確立。

●取組の方向性

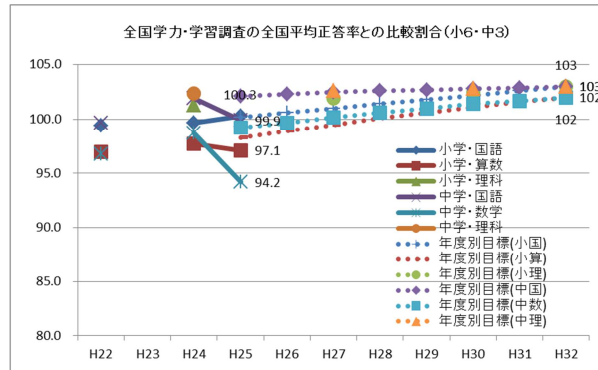
- ① 少人数教育によるきめ細かな指導
 - ・ 小・中学校における少人数教育の充実のため、市町村や各学校の実態に応じた弾力的な運用の視点から少人数教育の在り方について検討を進めます。
- ② 言語に関する能力の育成
 - ・ 学校等において多様な読書活動を引き続き推進します。
- ③ 学力向上のための取組
 - ・ 算数・数学については、基礎的な学力の確実な定着及び応用力の育成を図る取組等を行います。
 - ・ 高等学校においては、学習意欲の高い生徒を育成するため、早い段階から知的探究心の向上を図る取組を実施します。
また、学校が連携して思考力・読解力・表現力等の向上を図る取組を実施し、指導内容、指導方法等についての研究及び情報の共有化を促進します。
 - ・ 小・中・高等学校を通して、地域や保護者の協力を得た取組により学力向上に資する学習習慣や生活習慣の確立を図ります。
 - ・ 小・中学校においては、放課後等に外部人材の活用を図ります。
- ④ 理数教育の推進
 - ・ 理数教育優秀教員による小学生算数・理科講座の実施や、中学生・高校生を対象とした論文募集を行い、児童生徒の数学的・科学的に考える力及び科学技術に対する関心を高めます。
- ⑤ 過疎・中山間地域の学習指導及び学習環境の充実
 - ・ インターネットを活用したeラーニングと通信教材の活用の充実を図り、学校と家庭、学校と学校をつなぐ主体的な授業及び家庭学習に取り組む学習サイクルを確立させることにより、学習意欲及び学力向上を図ります。

●主な指標の状況

・指標 1

全国学力・学習
状況調査の全国
平均正答率との
比較割合（公立
小6・中3）

	現況値	年度別目標値	評価
小6国語	100.3	100.2	順調 ではない
小6算数	97.1	98.3	
中3国語	99.9	102.1	
中3数学	94.2	99.2	



年度	H22	H23	H24	H25	H32(目標)
小学・国語	99.4		99.7	100.3	103.0
小学・算数	97.0		97.7	97.1	102.0
小学・理科			101.3		103.0
中学・国語	99.7		101.9	99.9	103.0
中学・数学	96.8		98.7	94.2	102.0
中学・理科			102.4		103.0

- ☆1 理科の調査は2年おきとなっている。
- ☆2 H23は震災により調査を行っていない

①評価の理由

小6国語についてはおおむね全国平均であるが、それ以外については全国平均を下回っており、目標値も下回っているため。

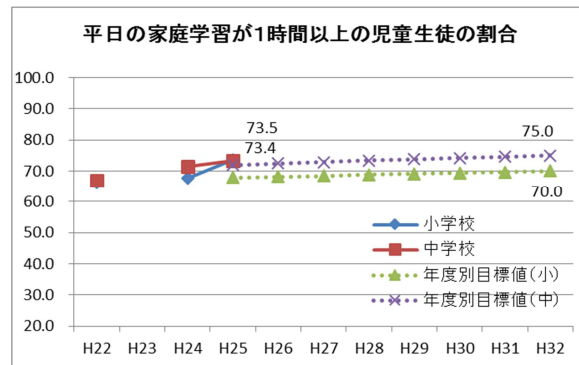
②今後の取組

知識・技能のより確実な定着と、これらを活用して課題を解決する力の育成に取り組んでいく。また、「わかる・できる授業」を目指すとともに、児童生徒の思考力・判断力・表現力等を高めるための学習指導の改善に一層取り組んでいく。

・指標 2

平日の家庭学習
が1時間以上の
児童生徒の割合
(公立小6・中3)

	現況値	年度別目標値	評価
小学校	73.5%	67.9%	順調
中学校	73.4%	71.9%	



- ※平成23年度は震災により調査を行っていない

①評価の理由

現況値が目標値を達成しており、前年度からの改善が見られるため。

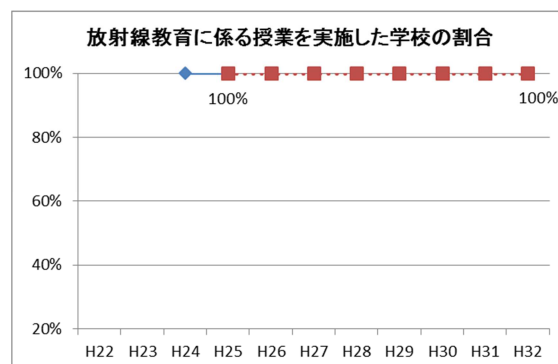
②今後の取組

学力向上に係る各種事業を確実に推進することにより、年度ごとの目標値の達成に努めたい。

・指標 3

放射線教育に係
る授業を実施し
た学校の割合
(公立小・中学
校)

	現況値	年度別目標値	評価
	100%	100%	順調



①評価の理由

全校において放射線教育が実施されているため。

②今後の取組

引き続き、指導者養成研修会、地区別研究協議会の実施、実践協力校への支援を行うことにより、優れた事例の普及や放射線教育の質の向上を図る。

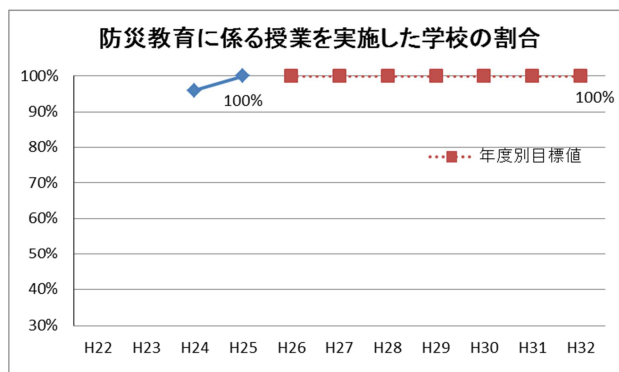
・指標 4

防災教育に係る授業を実施した学校の割合（公立小・中学校）

現況値
100%

年度別目標値
100%

評価
順調



① 評価の理由

全校において防災教育が実施されているため。

② 今後の取組

より質の高い防災教育を実施し、児童生徒の防災意識が向上するよう、指導資料の作成や研修会を実施するとともに、全校に実施を促していく。